

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	199	行政バス運行経費	01	01	一般会計
基本施策	51	市内交通機関の利便性を高める	02	02	総務費
			01	01	総務管理費
			06	06	企画費
担当部課名		青山支所総務振興課	105	105	バス等対策経費
作成者氏名	小澤 猛	連絡先	0595-52-1114	01	行政バス運行経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	公共交通機関の空白地域における市民(園児・学生・高齢者等の交通弱者)	公共交通機関の空白地域の生活交通手段の確保と高齢者等の交通弱者移動手段の確保をする。
本年度事業内容	・三重交通(株)に委託し、滝線・霧生線・高尾線の自主運行バスを週170便運行する。	
開始年度	平成 12 年度	終了年度 平成 年度
根拠法令・要綱等		

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	1.1	1.1	1.1
人件費合計(A)	7,920	7,920	7,920
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	48,420	50,000	50,000
委託料	48,418	48,416	48,416
その他	2	1,584	1,584
合計(A+B)	56,340	57,920	57,920
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	8,112	4,500	4,500
地方債			
受益者負担			
その他特財		15,900	15,900
一般財源	48,228	37,520	37,520
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
収支率	%	22.6	26	30			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
収支率の改善	交通手段を持たない人の移動手段としての効率的な運行を進める。	%	22.6 目標 (30)	26	30
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

H. 18で伊賀市交通計画を策定し、行政バス運営について見直しの予定である。なお、H. 18で運行時刻を縮減したが、利用者から従前の運行形態に戻すよう強い要望が出されている。

評価	必要性	4	交通手段を持たない、学童、高齢者には必要不可欠であり、継続すべき事業です。	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	4		
	効率性	3		